

本物の車輌が本物の
街を走るように・・・
世界最大級[※]のジオラマが
繰り広げるドラマ

原鉄道模型博物館

世界の鉄道模型がやってくる

精巧に再現された小さな本物

鉄のレール、鉄の車輪、架線集電、惰力走行、揺れ枕・・・

本物の車輌が本物の街を走るようなリアルな情景を世界最大級[※]のジオラマで再現
鉄道模型を通じて知る、歴史や技術
一番切符や希少なアンティーク鉄道玩具
横浜の今昔の街並みを楽しむ横浜ジオラマ

どれもが、ここでしか見ることができない、鉄道ワールド

※一般公開されている一番ゲージの室内ジオラマとして世界最大級

開館時間 10:00～17:00 (最終入場 16:30)

休館日 毎週火曜日(祝日の場合は翌営業日に振替)
年末年始、保守点検期間(2月上旬予定)

入館料 大人 ¥1,000 中学・高校生 ¥700 小人(4歳以上) ¥500 (消費税込)

チケット購入方法 当日券を現地に販売いたします。

※上記の営業概要につきましては、変更する場合がございますので、HPにて随時ご確認ください。
<http://www.hara-mrm.com>

アクセス 所在地：神奈川県横浜市区高島 1-1-2 横浜三井ビルディング 2 階

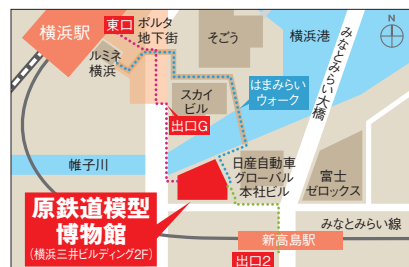
徒歩ルート

●●● 横浜駅より「はまみらいウォーク」
ルートで徒歩5分

●●● 横浜駅より地下ルートで徒歩5分

●●● 新高島駅ルートで徒歩2分

問合せ先 045-640-6699



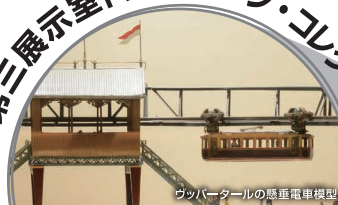
本物の街を本物の車輛が走るようなリアルな情景をお楽しみください。

世界最大級のジオラマ いちばんテツモパーク



HIGHLIGHT!

第3展示室「ヴィンテージ・コレクション」



ウッパターールの懸垂電車模型

原信太郎所蔵の中でも希少なアンティーク模型や一番切符を展示。また、原信太郎の旅の一端を、模型などを交えて解説。



一番切符

HIGHLIGHT!

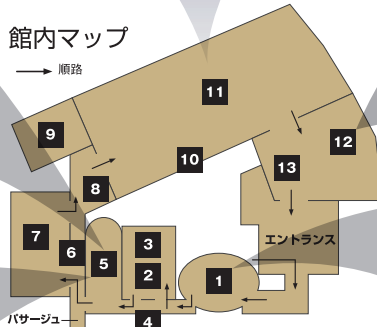
第3展示室「フォト・ライブラリー」



原信太郎が撮影した膨大な車両写真。13,000ページに及ぶアルバムは、すでに廃線となった鉄道や、廃車となった車両の姿も多数。

館内マップ

→ 順路



HIGHLIGHT!

第2展示室「語る模型」



LNER A4形 (通称：マラード号)

原信太郎の所蔵する膨大な模型を通じて、鉄道の歴史や技術を伝えていきます。また原信太郎の模型作りのライブラリーも。

HIGHLIGHT!

第2展示室「語る模型」

一号機関車
原信太郎が小学生の時に作った、当博物館のマークともなっている機関車。

金剛山電気鉄道22号
朝鮮半島に存在した伝説の登山列車。

箱根登山鉄道チキ1
木造、真鍮エッチングの精密な再現がみどころです。

オリエント急行
木造の美しい車輛を天井絵まで見えるようにしています。

阪神電気鉄道311形313
色や形が魅力的な木造電車。

HIGHLIGHT!

第12展示室「横浜ジオラマ」



横浜の今昔を再現したHOゲージのレイアウト。かつての横浜駅(今の桜木町駅)周辺の様子や馬車道や中華街エリアなど、横浜の街並みを再現しています。

HIGHLIGHT!

第1展示室「原模型の真髄」



一号機関車

原模型の中でも、代表作を展示。模型製作にまつわるエピソードや部品に至るまで詳細に解説しています。

スイス国鉄 Ae4/7形
ブッフリ式駆動装置を再現しました。

或る列車
明治末期の幻の列車。ガラス床面から客車の下を見るのも面白いです。

※一般公開されている一番ゲージの室内ジオラマとして世界最大級
※記載されている内容は予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

他にもいろいろ

第3「シャングリラ伝説」

原信太郎のシャングリラ博物館(自宅)の大きな写真とともに、原信太郎が自分の言葉でそのスピリッツを語るVTRなど。

第4展示プロムナード「原信太郎と鉄道史」

原信太郎がどんな鉄道を見てきたのか。彼自身の年表と、鉄道史とを重ねて解説。

第6 バサージュ「HOゲージ模型」

壁面に原信太郎所蔵のHOゲージの模型を展示したバサージュ。このバサージュを通して屋内から屋外をイメージしたいちばんテツモパークへ。

第7 多目的ルーム

企画展やイベントのための多目的ルーム。催事内容はHPをご覧ください。

第8 実物の鉄道プレートやコントローラーを展示

原信太郎の幅広いコレクションの一部を展示しました。

第9 車輛工房

いちばんテツモパークの引込み線が入っている工房です。修理などの風景を窓から見るすることができます。

第10 「原模型の秘密」、模型工房

原模型の技術を分かりやすく解説。オリエント急行の車輛をイメージした壁面窓から見える解説をご覧ください。原信太郎の自宅にある模型工房も再現しています。

第13 レストスペース

ご休憩いただけるソファがあります。